

こころとからだに、
おいしいものを。



2021年11月26日

ダイドーグループホールディングス株式会社

原材料高騰に関する当社の見解について

足元では原材料価格の上昇が、食品業界のみならず、各社の業績に影響を与えております。当社は、2022年1月期第3四半期決算発表に際し、決算説明会開催の予定はございませんが、個別取材においてアナリスト・投資家の皆様から原材料価格に関する質問をいただくことが予想されます。つきましては、フェアディスクロズの観点から、主たる事業である国内飲料事業に関する原材料価格についての当社見解につきまして、以下の通りご案内申し上げます。

原材料価格が当社連結業績に与える影響について

- ・ 2022年1月期（今期）
 - すでに調達済みのため、開示済みの業績予想（2021年3月4日に公表）への影響はございません。
- ・ 2023年1月期（来期）
 - 主要原料であるコーヒー豆の価格変動が続くと同時に、為替の影響もあることから、現時点では確定的なことは申し上げられません。
 - 他の原材料・資材を含め、10億円を超えるコスト増加となるリスクはありますが、調達・生産などあらゆる面での施策を進め、影響の最小化に努めてまいります。
 - 原材料価格の相場、業界動向などを注視しながら、品目ごとの値上げなども柔軟に検討し、原材料高騰の影響を最小限に留めてまいります。

なお、本資料に記載されている当社グループの見解につきましては、当社において発表日時点で入手可能な情報による当社経営陣の判断および仮定に基づいています。従って、実際の影響額は、経済情勢その他リスク要因により、大きく異なる可能性があります。

以上